

科目名	くらしと財政(財政学)		担当者名	岡田裕二(オカダユウジ)	
開講年次	2	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0020	該当DP	DP2,DP3	実務経験	銀行勤務
授業概要	日本の財政は、社会保障費の増大等の構造的な課題を抱えた上に、コロナ禍の中で非常に厳しい状況にあります。この講義では、まず財政の基礎的なことを学んだ後に、応用として財務省の広報資料を使いながら、財政が抱える課題について知識と理解を深めます。そして日本の財政の課題がこれから自分の身の回りでどのように関わってくるのかを考えます。				
到達目標	1. 新聞やテレビで報道される、財政赤字や国債の発行増、社会保障費増大といった諸問題について人と語れるようになること。 2. 財政問題が、自分の今又はこれから先の社会人としての生活の中で、どのように影響してくるかを自分で考えることができるようになること。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習（内容と時間）	
	1	基礎 1. 財政とは？ 2. 経済活動と政府 3. 政府の役割		授業後に配布資料を復習	30分
	2	基礎 4. 日本の財政の仕組みと現状 5. 増える社会保障費 6. 国債とは？		授業後に配布資料を復習	30分
	3	基礎 振り返り		復習	30分
	4	応用 1. 予算はどのような分野につかわれているか 2. 財政はどのくらい借金に依存しているか		教科書①P1～2予習復習	30分
	5	応用 3. なぜ財政は悪化したのか(財政構造の変化) 4. 諸外国の支出と税収の規模		教科書①P3～4予習復習	30分
	6	応用 5. どのくらい借金に依存してきたのか 6. 日本の借金の状況 7. 「借金」の問題点		教科書①P5～7予習復習	30分
	7	応用 8. 経済成長の停滞と財政① 9. 経済成長の停滞と財政② 10. 経済成長の停滞の要因と課題		教科書①P8～10予習復習	30分
	8	応用 11. 高齢化により増大する社会保障関係費 12. 社会保障関係費は今後も増えるのか		教科書①P11～12予習復習	30分
	9	応用 13. 給付と負担のアンバランス 14. 社会保障と税の一体改革		教科書①P13～14予習復習	30分
	10	応用 15. 防衛・安全保障 16. こども・子育て政策 17. グリーン・トランスフォーメーション		教科書①P15～17予習復習	30分
	11	応用 18. 日本はどのように財政健全化を図っていくのか 19. プライマリーバランスとは何か		教科書①P18～19予習復習	30分
	12	応用 20. 金利動向と財政運営 21. 未来のために、今、私たちは何をすべきか		教科書①P20～22予習復習	30分
	13	応用 振り返り		教科書①②復習	30分
	14	北九州市の財政を見てみよう		復習	30分
15	総括 今後の財政のあるべき姿を議論してみよう		復習	30分	
教科書	基礎 : 資料配布 応用 : ①「これからの日本のために財政を考える」、②「日本の財政関係資料」(いずれも財務省)				
参考書	「財政入門」(森田雄一・柳原光芳編著) 中央経済社 「財政読本(第6版)」(井堀利宏・土井丈朗著) 東洋経済新報社				
成績評価	方法	割合	備考		
	期末試験	60%	論述方式、返却はしません。		
	受講態度	40%	講師が授業中に出す問題に積極的に答えましょう。質問をしましょう。		
	中間確認テスト		中間で確認テストを実施します。未回答者は受講態度点を大きく減点します。		
	欠席・遅刻・早退		受講態度点を減点します。		
履修上の注意	1. 日頃から、財政、金融、経済に関する新聞記事、TVニュースに興味を持って接するように心がけて下さい。 2. 教科書や配布資料に記載されていること以外の話題に触れることもあります。ノートを準備して下さい。 3. 授業中の私語、居眠り、スマホ・携帯電話などの授業目的以外の操作は迷惑行為として厳禁します。				
オフィスアワー			メールアドレス		